



2025 年 6 月 2 日(月)

報道各位

**優れたクリエイティブを表彰する日本最大級のアワード
「2025 65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」
本日 6 月 2 日よりエントリー受付開始！**

一般社団法人 ACC（英文名：All Japan Confederation of Creativity、東京都港区、理事長：小郷 三朗）は、あらゆる領域のクリエイティブを表彰する日本最大級のアワード「2025 65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」（URL：<https://www.acc-awards.com/>）のエントリー受付を、本日 2025 年 6 月 2 日(月)より開始いたしました。

応募部門は、フィルム部門、フィルムクラフト部門、ラジオ＆オーディオ広告部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、PR 部門、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の全 9 部門です。



エントリー期間は、2025 年 6 月 2 日(月)～6 月 30 日(月)18 時までです。作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイト(以下、アワードサイト)にてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

各部門の「ACC グランプリ」をはじめとする全入賞作品は、2025 年 10 月中旬にアワードサイトにて発表され、11 月 13 日(木)に開催される贈賞式にて表彰いたします。

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」では、より多くの秀逸な作品を顕彰することで、さまざまな企業や団体、クリエイターの日頃の取り組みに光を当てると共に、さらなる日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく努めてまいります。

なお、各部門の審査委員や応募要項など、詳細は以下の通りです。



「2025 65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

【エントリー期間】

2025 年 6 月 2 日(月)～6 月 30 日(月) 18:00 まで

- ・ 前期料金対象期間：6 月 2 日(月)～6 月 16 日(月)23:59 までにエントリー完了分
- ・ 後期料金対象期間：6 月 17 日(火)～6 月 30 日(月)18:00 までにエントリー完了分

【部門構成および参加資格】

■ フィルム部門

- ・ A カテゴリー（テレビ CM、地域テレビ CM）

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送された CM。

- ・ B カテゴリー（Online Film）

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までの間に、Web 上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2025fes/film>）をご確認ください。

■ フィルムクラフト部門 ※2025 年 5 月 23 日(金)に参加資格を改定いたしました。

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までの間に初公開された動画。

※サブカテゴリーの設定があります。

※サブカテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。
カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

詳細は応募要項（https://www.acc-awards.com/2025fes/film_craft/）をご確認ください。

■ ラジオ & オーディオ広告部門

- ・ A カテゴリー（ラジオ CM、地域ラジオ CM）

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送された CM。

- ・ B カテゴリー（オーディオ広告）

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日までの間に日本国内で公開・実施された、音声広告。

※A カテゴリー、B カテゴリーの重複応募はできません。

詳細は応募要項（https://www.acc-awards.com/2025fes/radio_audio/）をご確認ください。

■マーケティング・エフェクティブネス部門

2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間に、テレビ CM、ラジオ CM、新聞・雑誌、Web、イベント等で展開されたキャンペーン施策。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。

ただし、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

<サブカテゴリー> エントリーの際に、以下 A・B のいずれかをご選択ください。

A：ショートターム・エフェクティブネス（SE）

単年度のマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、成果をあげたキャンペーンを評価します。

B：ロングターム・エフェクティブネス（LE）

複数年にわたって持続性のあるマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、生活者とのエンゲージを深め、今年その成果をさらに向上させたキャンペーンを評価します。

※サブカテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

※ロングターム・エフェクティブネス（LE）については、ローンチの時期が分かるようにエントリーシートの中に必ずご記載ください。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2025fes/me/>）をご確認ください。

■ブランデッド・コミュニケーション部門

2024 年 6 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたブランデッド・コミュニケーション（広告/キャンペーン/ブランデッド・コンテンツ）。

※2024 年 6 月 1 日～6 月 30 日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※複数カテゴリーへの応募は可能です。

・ A カテゴリー：プロモーション/アクティベーション

商品やサービスの購入や利用に対して、ターゲットの積極性を促すことができた最も新しく創造的なアイデアを表彰します。

・ B カテゴリー：ソーシャルインフルエンサー

ブランドのために創られた、ソーシャルメディアやデジタル上のコンテンツの優れたクリエイティビティや美しい設計、拡散力、そしてコミュニケーションの質を表彰します。

・ C カテゴリー：デジタル・ソーシャルクラフト

デジタルテクノロジーを活用したり、現ソーシャルメディア環境を活かした卓越したデザイン、ユーザーエクスペリエンス、クラフトマンシップを表彰します。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2025fes/bc/>）をご確認ください。



■PR 部門

2024 年 6 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開された PR 活動（コーポレート PR、マーケティング PR、ソーシャルキャンペーン、パブリックアフェアーズ、リスクマネジメント、CSR 活動／SDGs 活動、インナーコミュニケーション、地域創生等）。

※過去にエントリーした作品でも継続中の PR 活動であれば、応募可能です。ただし、過去にエントリーした際から「クリエイティビティ」という観点の新たなチャレンジや「成果」の違いを明確に示してください。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2025fes/pr/>）をご確認ください。

■デザイン部門

2024 年 6 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたデザイン。

※2024 年 6 月 1 日～2024 年 6 月 30 日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※コンセプトやプロトタイプは応募不可。

<審査対象カテゴリー>

1. ブランドデザイン分野（ブランディングや広告に関するコミュニケーションのデザイン）
2. エクスペリエンスデザイン分野（サービスや UI/UX、インスタレーションのデザイン）
3. ソーシャルデザイン分野（地域や社会の課題解決など、未来に向けてのデザイン）
4. プロダクトデザイン分野（プロダクトやパッケージなど製品に関するデザイン）
5. スペースデザイン分野（空間や施設、建築など場に関するデザイン）

※審査対象カテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。審査対象カテゴリー別の賞を出すためのものではありません。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2025fes/design/>）をご確認ください。

■メディアクリエイティブ部門

2024 年 6 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の期間に実施された（放送・出稿等された）、メディアのアセットを活用した仕掛けや取り組み。

※2024 年 6 月 1 日～2024 年 6 月 30 日に実施されたものについては、昨年応募されていないことが条件です。

詳細は応募要項（<https://www.acc-awards.com/2025fes/mc/>）をご確認ください。

■クリエイティブイノベーション部門

「ビッグ・アイデア×テクノロジー」

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスと、プロトタイプ。



- ①企業の新規プロジェクト
- ②創造性の高いスタートアップ
- ③クラウドファンディングや研究機関等のプロトタイプ
- ④地方や団体での新しいビジネス

※上市または社会実装、ローンチの時期は問いません。

※昨年エントリーしたもののでも応募が可能です。その場合は、従前のものとの違いや差分を明らかにしてください。

詳細は応募要項 (<https://www.acc-awards.com/2025fes/ci/>) をご確認ください。

【審査委員長】

※5月8日(木)の発表以降、フィルムクラフト部門の審査委員長が決定いたしました。

■フィルム部門

福部 明浩 氏 (catch／クリエイティブディレクター、コピーライター)

■フィルムクラフト部門 ※新任

山田 智和 氏 (Caviar／Tokyo Film Director)

■ラジオ＆オーディオ広告部門

中山 佐知子 氏 (ランダムハウス／コピーライター、ディレクター)

■マーケティング・エフェクティブネス部門

松村 眞依子 氏 (日産自動車／日本マーケティング本部 ブランド&コミュニケーション戦略部
シニアマネージャー)

■ブランデッド・コミュニケーション部門 ※新任

栗林 和明 氏 (CHOCOLATE／チーフコンテンツオフィサー)

■PR 部門

眞野 昌子 氏 (日本マクドナルド／広報部 部長
日本パブリックリレーションズ協会(PRSJ)副理事長)

■デザイン部門

川村 真司 氏 (Whatever／Chief Creative Officer、Co-Founder
Open Medical Lab／Chief Creative Officer)

■メディアクリエイティブ部門

檜原 麻希 氏 (ニッポン放送／代表取締役社長)

■クリエイティブイノベーション部門

木寄 綾奈 氏 (NewsPicks Studios／取締役、Executive producer)



<各部門の審査委員長メッセージおよび審査委員>

<https://www.acc-awards.com/juries2025/>

<各部門の審査委員一覧>

資料 1「各部門 審査委員一覧」をご参照ください。

【コラボレーション】

gettyimages®

BRANDED
SHORTS

■「ゲッティイメージズ」

マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、PR 部門、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の各応募資料に、ゲッティイメージズの画像素材を無料で使用することができます。

<ゲッティイメージズご利用案内>

<https://www.acc-awards.com/other/gettyimages/>

■「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」

フィルム部門 B カテゴリー（Online Film）では、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」BRANDED SHORTS 部門

（<https://brandedshorts.jp/about/>）とのコラボレーションを実施。ACC ファイナリスト以上に
入賞した作品は、エントリーフィー無料で同部門への応募が可能となります。

【ロゴ、トロフィー】





< 「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」 特設サイト >

URL : <https://www.acc-awards.com/>

< 主催：一般社団法人 ACC >

URL : <https://www.acc-cm.or.jp/>

【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催する広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、最高賞である「ACC グランプリ」はクリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に活動を開始しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・メディアの 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : <https://www.acc-cm.or.jp/>

一般社団法人 ACC 担当：平川



「2025 65th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

資料 1

各部門 審査委員一覧

(敬称略、審査委員は五十音順)

■フィルム部門

審査委員長

福部 明浩 (catch／クリエイティブディレクター、コピーライター)

審査委員

※決定次第発表いたします。

■フィルムクラフト部門

審査委員長 ※新任

山田 智和 (Caviar／Tokyo Film Director)

審査委員

※決定次第発表いたします。

■ラジオ＆オーディオ広告部門

審査委員長

中山 佐知子 (ランダムハウス／コピーライター、ディレクター)

審査委員

大谷 恭代 (J-WAVE／ビジネスプロデュース局ビジネスプロデュース部マネジャー)

黒沢 かずこ (吉本興業／お笑い芸人)

櫻井 瞭 (ドリル／CM プランナー、構成作家)

澤本 嘉光 (dentsu Japan／

グロースオフィサー エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、脚本家)

しまおまほ (文筆業)

中村 直史 (五島列島なかむらただし社／クリエイティブディレクター、コピーライター)

野田 絵美 (博報堂／メディア環境研究所 上席研究員)

林 尚司 (電通／クリエイティブ・ディレクター)

原 壮俊 (K-MIX (静岡エフエム放送)／編成制作部 副部長、コピーライター、番組プロデューサー)

原田 堅介 (CHERRY／クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、コピーライター)

古川 雅之 (電通(Creative KANSAI)／クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、コピーライター)

吉岡 丈晴 (博報堂／クリエイティブディレクター、コピーライター)

吉岡 由祐 (大広／クリエイティブディレクター、CM プランナー、コピーライター)

以上



■マーケティング・エフェクティブネス部門

審査委員長

松村 眞依子（日産自動車／日本マーケティング本部 ブランド＆コミュニケーション戦略部 シニアマネージャー）

審査委員

青木 貴志（マッキンゼーエリクソン 代表取締役社長／マッキンゼー・ワールドグループ ホールディングス 取締役／クラフト ワールドワイド 代表取締役社長）

糸瀬 大祐（サントリーホールディングス／宣伝部 部長）

川崎 鋼平（LIFULL 執行役員 CCO／LIFULL HOME'S 事業本部副本部長 CMO／LIFULL senior 取締役）

坂井 嘉裕（サイバーエージェント／執行役員）

白澤 勉（日清食品／マーケティング部 部長）

中川 悠（博報堂／エグゼクティブクリエイティブディレクター、ストラテジスト）

萩原 幸也（リクルート／マーケティング室 部長、クリエイティブ・ディレクター）

古市 丈二（ロッテ／マーケティング本部第1ブランド戦略部 部長）

前田 星平（電通／クリエイティブディレクター、コミュニケーションデザイナー）

山崎 真理子（ADK マーケティング・ソリューションズ／エクスペリエンス・クリエイティブ本部
NEXT GEN クリエイティブ局 局長、シニア・クリエイティブ・ディレクター、プランナー）

以上

■ブランデッド・コミュニケーション部門

審査委員長 ※新任

栗林 和明（CHOCOLATE／チーフコンテンツオフィサー）

審査委員

あさぎーによ（ポップクリエイター）

荒井 信洋（AKQA／Executive Creative Director）

市川 晴華（CHOCOLATE／プランナー、クリエイティブディレクター）

太田 郁子（Accenture Song／マネジング・ディレクター）

尾上 永晃（電通／プランナー、クリエイティブディレクター）

片岡 良子（CHERRY／コピーライター）

小暮 菜月（博報堂／アートディレクター、クリエイティブディレクター）

小西 利行（POOL／クリエイティブ・ディレクター、コピーライター）

佐野 貴子（サントリー食品インターナショナル／コミュニケーションデザイン部 課長）

菅野 薫（（つづく）／Creative Director、Creative Technologist）

TaiTan（ラッパー、クリエイティブディレクター）

畑中 翔太（dea クリエイティブディレクター／BABEL LABEL 企画プロデューサー、脚本家）

花田 礼（電通／クリエイティブディレクター、プランナー）

細田 高広（TBWA\HAKUHODO／Chief Creative Officer）

明円 卓（kakeru／Creative Producer）

龍崎 翔子（水星／代表取締役）

以上



■PR 部門

審査委員長

眞野 昌子（日本マクドナルド 広報部 部長／日本パブリックリレーションズ協会(PRSJ) 副理事長）

審査委員

伊東 由理（LINE ヤフー／執行役員 コーポレートコミュニケーション統括本部長）

小国 士朗（小国士朗事務所／代表取締役）

加藤 倫子（電通／クリエイティブディレクター、PR ディレクター）

工藤 里紗（テレビ東京／制作局クリエイティブ開発チーム 部長・チーフプロデューサー）

小林 大地（The Breakthrough Company GO／Creative Director）

嶋 浩一郎（博報堂 執行役員、エグゼクティブ クリエイティブディレクター／博報堂ケトル ファウンダー）

住友 聡子（P&G ジャパン／広報渉外 執行役員）

関 航 （マテリアル／取締役 兼 Executive Storyteller）

登坂 泰斗（オズマピーアール／リレーションズデザイン本部 副本部長、統合コミュニケーションデザイナー）

橋本 しおり（ベクトルグループ プラチナム／PR ディレクター）

松尾 雄介（電通 PR コンサルティング／PR プロデューサー、プランナー）

松田 崇弥（ヘラルポニー／代表取締役、Co-CEO）

持富 弘士郎（ブラップジャパン／Planning Director）

以上

■デザイン部門

審査委員長

川村 真司（Whatever／Chief Creative Officer、Co-Founder
Open Medical Lab／Chief Creative Officer）

審査委員

黒田 英邦（コクヨ／代表執行役社長）

佐藤 ねじ（ブルーパドル／クリエイティブディレクター、プランナー）

武部 貴則（横浜市立大学／先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター長）

筒井 晴子（電通／Creative Director、Copywriter）

戸村 朝子（ソニーグループ 技術戦略部門 主任研究員／東京大学大学院情報学環 客員研究員）

朴 正義 （バスキュール／代表取締役、クリエイティブディレクター）

松島 倫明（コンデナスト・ジャパン／『WIRED』日本版 編集長）

ムラカミ カイエ（SIMONE／代表取締役）

米澤 香子（TBWA\HAKUHODO／Head of Innovation）

ライラ・カセム（シブヤフォント クリエイティブディレクター／奈良女子大学 特任准教授）

龍崎 翔子（水星／代表取締役）

以上



一般社団法人 ACC
(All Japan Confederation of Creativity)

■メディアクリエイティブ部門

審査委員長

檜原 麻希（ニッポン放送／代表取締役社長）

審査委員

今江 元紀（FM802／802 編成部長）

内山 聖子（テレビ朝日／取締役 コンテンツ編成局エグゼクティブプロデューサー）

加藤 純子（出光興産／広報部長）

佐々木 亜悠（電通／zero 局長 クリエイティブディレクター）

杉浦 充 （ADK マーケティング・ソリューションズ／エクスペリエンス・クリエイティブ本部
パーティカル CR プランニンググループ プランニング・ディレクター）

高橋 利之（日本テレビ／取締役級 CES）

中村 全信（Google Japan／Senior Marketing Manager、YouTube Ads）

松島 有輝（Cloud Nine／プロデューサー）

望月 省二（アサヒビール／理事 マーケティング本部 コミュニケーションデザイン部 部長）

リュウ シーチャウ（サニーサイドアップ／代表取締役社長）

以上

■クリエイティブイノベーション部門

審査委員長

木寄 綾奈（NewsPicks Studios／取締役、Executive producer）

審査委員

石田 健 （The HEADLINE 編集長）

小池 藍 （THE CREATIVE FUND, LLP／代表パートナー）

小布施 典孝（dentsu japan／グロースオフィサー、Future Creative センター長、Executive Creative Director）

柴田 陽子（ブランドプロデューサー／柴田陽子事務所 代表取締役／BORDERS at BALCONY 代表取締役）

中馬 和彦（みずほフィナンシャルグループ／執行役員 CBDO）

夫馬 賢治（ニューラル CEO、ESG アドバイザー／信州大学 グリーン社会共創機構特任教授）

坊垣 佳奈（マクアケ／共同創業者、顧問）

松本 紗代子（キンドリルジャパン／専務執行役員 コンサルト・プラクティス事業本部長 兼
インクルージョン・ダイバーシティ & エクイティ担当）

以上

ほかご依頼中の審査委員につきましては、決まり次第「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにて、発表いたします。

各審査委員のプロフィール等詳細につきましても、特設サイトにてご覧いただけます。

■<https://www.acc-awards.com/juries2025/>